

# ちいきのなかま通信

No.77

発行日：2019年11月1日

発行者：特定非営利活動法人 ちいきのなかま

## おいしいご飯で産後も。(^▽^)



ファミリーサポートセンター事業でも仕様書の範囲内（沐浴補助・母親の休養など）での産後サポート利用が増えています。この紙面でご紹介するのはNPO法人が取り組んでいる家事サポートです。予約・問い合わせも入ってきていて人材育成が今後の課題になりそうです。

産前産後 家事サポート

子育ての幸せなスタートを家事でお手伝い  
ママ自身を大事にするところから幸せな子育てがはじまります！

料理 洗濯 掃除 沐浴

初回のみ1,000円ご利用いただけます！ (ご寄付により利用料の補助が受けられます)  
ファミリーサポートセンター後、様々な支援の組み合わせや調整などのご相談も対応します

詳しくはホームページをご覧ください  
<http://chikinonakama.npo.jp/>

ちいきのなかま

NPO法人 ちいきのなかま  
佐世保市山手町 9-19  
☎ 090-9499-3608  
✉ chikinonakama@npo.jp



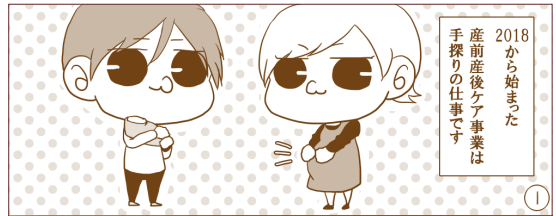
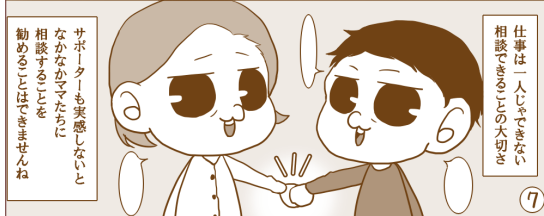
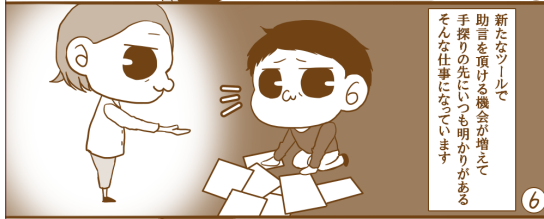
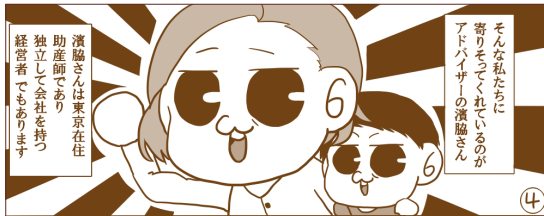
「産前産後家事サポート」は想定以上に反響をいただいています。サポーターさんに心地よく抱っこされている赤ちゃんを見てママはほっと安心できます。気づいたのはサポーターさんが現場でママたちからよく質問を受けるという課題。子育てをはじめて感じた疑問に内在するママたちの子育てへの思いや葛藤を共有して背景を探る作業も大事です。私たちができるのはママたちの思いや赤ちゃんへの愛情を暮らしの中の中心に据えるお手伝い。そしてそのことが相互の信頼関係構築の要。本当に一歩ずつ。事業初期の緊張感は今だけのものだから大事にしたいと思います。

ふと、ファミサポ事業が歩みを始めた日々のことを思い出します。第5期佐世保市女性企画懇話会中間報告書（1997年3月）で「ファミリーサポートセンター事業が必要」と報告。一生懸命考えて提案した私の立場は委員会の中で「母親代表」、まさに当事者でした。当時は行政の委員会の中に肩書きのない市民は珍しい存在でした。肩書きのない普通の、でも一人では子育てができないと知った母親の提案をもとにファミサポ事業は始まりました。紆余曲折あり提案者が事業を行うことになり、全くの手探りのスタートでした。市の担当者本当に助けていただきました。20年前のPCはよくフリーズして作業が手間取り大変でした。しかし、時代は子育て支援追い風の中、予算が付く幸せなスタートでもありました。現在開始した「家事サポート」は皆さんからの応援（寄付や会費）と子育て家庭のご負担での始動、本当に大事な事業ですが厳しい船出です。共感者のみなさんの応援、私たちの多少の経験、思いをもつサポーターさん、そしてPCの進化に助けられています。社会も変わった。サポートへの評価も温かいです。なので、前を向いて歩きます。

いらすとでみるちいきのなかま「〇〇のこ～んなかんじ」  
ちいきのなかまの周りて起こる出来事をイラストで紹介☆

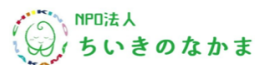
# 地方だからこそ遠隔会議 こ～んなかんじ

by 蓮すけ



「忙しい」はいいことかしら？日本人にとって忙しいのは良きこと、人がちゃんと生きている状態、だと評価する文化がある。それを否定したくとも悲しいかな「貧乏暇なし」がNPOのリアルではあり、それは正しくないと考えその状態を変えたいと努力してきた（貧乏という意味では道半ば）。ここ数年のPCやICTの進化は社会全体を変え、社会の片隅に生きるNPOの仕事をも劇的に変えてくれた。現場は業務システムを見直すことでかなり効率的に仕事ができるようになった。嬉しいのはNPO向けの安価かつ優秀な業務システムを企業が提供してくれる社会貢献だ。業務システムとか中高年に至る私には抵抗があったけれど、設定さえしてもらえば操作は簡単。自動車がなぜ動くのかわからなくても運転ができるように、システムを100%理解出来ていないけれど「仕事はできる」のだ。結果、私たちは仕事の優先順位を見直すことに成功したし、効率を上げていると思う。最近、これもありがたい、と思うのがビデオ会議。遠隔にいる専門職から情報をビデオ会議で定期的に受け取っている。現場で起きているさまざまな成果と課題を共有した上で助言をいただき現場が変わる。情報提供の具体的な内容はネットで即共有できる。このようなことは、これまで濃厚かつ直にコミュニケーションを重ねてきた信頼関係がベースにあるから可能になることでもある。生身のコミュニケーションとICT活用が交錯して仕事が進むことが最近とても面白いと思う（M）

かぞくの学校 2019 始まりました！！



## パパ&ママのための 夫婦会議の始め方講座

家族になるってなかなか大変。三方よし…で家族の構成メンバーそれぞれが家族でいることで幸せであってほしいと思い取り組んでいます。全国でご活躍の夫婦会議アドバイザー 長廣 百合子さん、遥さんご夫婦をお招きして2年め。ぜひご夫婦で参加して欲しいと思います。仕事の上で効率よくとか結果を出すって事のために会議は重要。会議の持ち方で業務効率が上がることは自明の理。実は家族の暮らしもそうなのです。家族の構成メンバーできちんと向き合い話し合ってみませんか？2020年2月 には夫婦会議の体験講座を開催します。ぜひご参加を。または身近な方にもオススメください。

2020年 1月 ひと育ちネットワーク

### 地域子育て支援スタッフのみなさんのネットワーク会議開催



昨年、長崎で広場を運営してこられたNPO法人インフィニティの野口さんのもとで定期的に開催されていた会議に参加しました。その場には県内各地で子育て支援に多様な立場で関わる方々が集まっておられました。お話を聞いていて感じたのは地域子育て支援事業が時代の中できちんと評価されていない現実でした。そして変化した時代の中で、現場はその役割や立場を、変えたいと感じているけれど仕様書は変わらない。県、市の担当者はそのことに気づいているのだろうか、という疑問でした。

子育て支援の現場にいる者の多くは凄惨な虐待によって奪われていく小さな命を思い、この仕事の重要性を感じながら仕事に向き合っていることと思います。日々出会う家族にどんな言葉をかけようか、信頼関係を築くためにどうしたらいいのか、と心を砕き、深い配慮をうちに隠しながら笑顔で向き合う。当事者は困り感を持っていないけれど、子どものために環境の改善が必要だと感じて向き合う時の緊張した感覚も多くの支援者が感じるころだと思えます。

子育て支援は20年ほど前に本格的に取り組まれ、そしてこの間質的变化を求められています。これからは何を大事にしていくのか、関係者で課題を共有してどう取り組んでいくのか、一緒に考えることを始めたいと思います。そして、政策的な応援が必要ならば県や市に働きかけたいと思います。申し入れ書を作りましょうか？

## ●これからベントや講座の予定●

よろしければ予定に書き加えていただければ幸い。

イベントには有料・無料、託児の有無などあります。事前にお問い合わせください。

イベント名	日時	会場	内容
ぼちぼちヨガ教室	11月11日・25日 (月) 13:50~14:50	ボランティア センター別館	定期開催 参加費¥500 会員外¥800
地域人材交流研修会	11月15日(金)	佐世保市男女共同参 画センタースピーカ	テーマ:ダブルケア
バターナッツ会	11月17日(日)	モントブレア	親の会
おもちゃ図書館	11月19日(火) 10:00頃から	ファミサポ事務所	参加費無料
ファミサポ交流会	11月19日(火)	清水地区公民館	水引きアクセサリーづくり ワークショップ
大村市シルバー人材 センター女性会員	11月27日(水)	ボランティアセン ター別館	産前産後ケアほか事業説明

### 後記

大村市のシルバー人材センターの視察依頼書に同封されていた「シルバーおむら」のシルバー川柳、笑いました。「うまかった、なにをたべたか 忘れたが」「ご主人は? お盆に帰ると詐欺に言い」「お揃いの茶碗にされる俺と猫」「懐メロが新しすぎて歌えない」などなど。子育て支援の業界にいると「ユーモア」は意識しますが「悲哀」や「哀感」は年を重ねてこそその優れた感覚だと改めて認識します。11/15 日本子ども子育て応援団の皆さんからのご提案で佐世保で高齢分野、子育て支援分野のみなさんの地域人材交流研修会に協力させていただきます。子どもが添えもののように見せるための交流はいかなものかとずっと思ってきましたが、人生経験を積まれた大きな大人の皆さんと子育て世代の出会いを仕事の中で楽しみたいと思う今日この頃。

### NPO法人ちいきのなかま

入会・会員(正・賛助)会員継続のご案内



正会員: 総会議決権あり 入会金¥1,000 年会費¥6,000

賛助会員: 総会議決権なし 年会費¥3,000

主な特典: 各種事業会員特別料金にてご優待

連絡先 NPO法人ちいきのなかま

〒857 0022長崎県佐世保市山手町9-19

携帯 090-9498-3608

E-mail: [chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp](mailto:chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp)

HP: <http://chiikinonakama.boj.jp/>